

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	成人式開催事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	090200 - 192	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	成人(大人)としての権利と義務の意識と、地域づくりの担い手としての自覚を促す。大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いあげます式典			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	成人式	新成人	1月8日開催。新成人対象者約1,000人。	新成人対象者949人内出席者776人(出席率81.8%)

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	743	795	757	785	
人件費	4,240	2,849	2,830	3,905	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,983	3,644	3,587	4,690	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	対象者数	1041人	1033人	979人	949人	対象者数は毎年変動する。
02	出席者	861人	861人	816人	776人	出席者は複数年で比較すると概ね横ばいとなっている。
03	出席率	0.827	0.833	0.833	0.818	出席者数÷対象者数

# 事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

04	対象者1人当たりコスト	4787円	3528円	3664円	4942円	フルコスト÷対象者
05	出席者1人当たりコスト	5787円	4232円	4396円	6043円	フルコスト÷出席者

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

平成28年度より、新しい催しとして新成人の思い出ビデオを上映した。新成人を含む出席者から好評であった。

### 問題点・課題等

地域づくりの担い手として、地域の一員であるという自覚を促す仕掛けが弱く、単なる同窓会になってしまう恐れがある。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

現状の式典内容で継続し開催していく。また、交流センターや他課との連携を強め、地域の特色や大人になったことへの自覚につながる内容を検討する必要がある。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了